研修コード： 650　　申込期限:R8.8.20

【集合】合同･監督者セミナー(メディア対応)

● **研修のねらい**

・監督者（グループリーダー・係長、課長補佐等）のリスクマネジメントを学ぶ。
・事故や不祥事など危機発生時のクライシスコミュニケーションのスキルを身につけ、メディア対応力を高める。

● **この研修のおすすめポイント**

準備は必要だけど、時間がない！それがメディア対応
不祥事等で記者会見をすることになったときの記者への対応、姿勢や発言の視点、進行の仕方について、横浜市危機管理広報アドバイザーの講師が手厚く具体的にアドバイスします。

● **日程・開催場所**

令和８年10月27日（火）　自治総合研修センター

● **予定人員**

３６人（県６人、市町３０人）

● **対象者**

（県）　グループリーダー、係長、主査及びこれに相当する職以上にある職員
（市町）係長、主査、専門員、企画員及びこれに相当する職以上にある職員

● **講師（予定）**

≪日本経営協会　宇於崎　裕美≫
ＰＲ会社勤務を経て、企業広報とマーケティング、危機管理広報のコンサルタントとして1997 年に独立。国内外の官公庁、企業、大学等で広報やクライシス・コミュニケーションに関する講演や、メディアトレーニングを実施。横浜国立大学非常勤講師。令和４年 11 月、横浜市危機管理広報アドバイザー就任。

● **標準プログラム**

１日　　合計６．５時間
９：25 － ９：30　オリエンテーション
９：30 － 17：00　・リスクマネジメントの基礎
　　・クライシスコミュニケーションの原則
　　・メディアトレーニング（模擬記者会見）
17：00 － 17：15　閉講

◇受講者の声

・最近のメディア会見の良い事例、悪い事例を挙げての講義で分かりやすかった。また、午後から模擬記者会見を行い、その模様を録画されその模様を確認することができ、先生のアドバイスもあり分かりやすかった。
・今回の研修が活かされないこと（不祥事が起きないこと）がベストではあるが、仮に起きてしまった場合、今回の講義で得た知識と経験を活かして落ち着いて対応したい。